## トラモクのすばらしさを通して、楽器の神秘、深さを知ってほしい。
## 妥協のないグレイトサウンドの秘密がここにある。

●トラモクスタンダード・ミニバイオ……：エレクトリックギターの王者また名器としてソリッドギターのストラディバリウスとまで呼ばれ、プロミュージシャンのみならずヴィンテイジギターマニア垂涎の的となっているトラモクスタンダードモデル。そのタイガーストライプのクロスグレインが群ぜんなカーリーメイプルによるアーチトップは芸術的かつ完成された美しさを誇るとともに音響的にも優れた特性をひき出しスタンダード特有のハイグレードなサウンドを創り出している。世界でも希少なこのカーリーメイプルは元来クレモナ地方のヴァイオリン製作家たちの間で非常に貴重な材料として使われ、多くの銘器を生みだしている。ソリッドボディでは'58～'60年ごろ製作されたレスポールスタンダードに使用され、現在オールドモデルの最高峰としてここ数年過熱気味ともいえる人気は加速度を増すばかりである。このヴィンテイジギターの極めつけとも言うべき、カーリーメイプルトップによるスタンダードモデルがどのようにして製作されるのか、その源であるカーリーメイプルの魅力とトーカイのテクノロジーによって生まれるギターの製作過程をここに探る。●トラモクの呼び方とモク(杢)について……。：総称的な呼び方でトラモク(虎杢)と呼ばれているこのメイプル材にも実に色々な呼び方がある。一般的なカーリーメイプルをはじめ、タイガーメイプル、フィギュアドメイプル、フィドルバックメイプル、フレイムメイプル等々……。そしてこのトラモクというのは決して木目ではない。モクというのは杢という字で書くとおり木のネジレ、ゼジワのことで、つまり木の生育過程がこのモクをつくりだしている。太いモクや細いモク、タマモクやギラギラモクが、その生育環境を示しているというわけだ。●トラモクはいかにして生まれるか？……：で、このトラモク＝カーリーメイプルがいかにして生まれるかと言う点はどもかしふれたが、その生育環境がすごく影響している。トラモクの多くは世界各地の寒冷地でしかも極めて条件の悪いところで発育したものにみられる。それを強い風の吹く谷間とか、気象条件に恵まれない北側に生えているとか……。そったりネジれたりひねるようなアノーマル的な発育過程の中でモク(杢)はつくられてゆくわけだ。またすべて1本1本違う条件で生まれてくるためギンギンのトラモクが、細いクロスグレインのもの、あまりモクは出てないが組織はしっかりしているもの、そして極くまれにタマモク(バーズアイ)的に生まれてくるもの等いろいろだ。とにかくすべてにすばらしいトラモクが出ているとは限らないわけで、その四を良く理解したうえでギターをみるとまた違った味わいが出てくる。というのはそれだけ不思議な材料なのである。●トラモクの音響特性……。：トラモクいわゆるカーリーメイプルの優れた音響特性は、通常のメイプル材を含めた多くの材料の頂点にたつといわれている。しかしなぜ優れているかというモロモロの要因は残念ながら今だに理論的には解明されていない。そしてまたその四が木の不思議さというか、神秘さというか、それだから楽器というのはおもしろいということになる。これはあくまでも結果論で、同じ条件で通常のメイプルトップとカーリーメイプルトップを比較した場合、やはりトラモクメイプルの方がすばらしいサウンド。という事で、世界のプロアーティストがこぞって'58～'60年スタンダードモデルを追い求める理由はうなずけるというもの。そのうえ視覚的にも価値的にもすばらしいとなれば、オールドギターマニアもほっとくわけがなく、その人気はますます高まるばかりだ。●トーカイパーフェクトレプリカLSシリーズ：だから又言って通常のメイプルトップの音が悪いということではない。トーカイ'58スタンダードモデルのようにソリッドメイプル、そしてソリッドマホガニーバックというオリジナルと同じマテリアルを採用し、最高の技術を組み入れレプリカすれば、トラモクに優るとも劣らないスーパーサウンドがクリエイトできるし、やはりはっきり自分の個性を主張できるギターを選ぶことの方が大事だと思うのだが……。トップアーティストのトラモクスタンダードをみてもすべて1本1本ちがうし、ウラン・ヘイレンのメイチャトラからスティーヴ・ルカサーの楽器のようにささやかなものまで千差万別。トーカイはシビアに世界各地から収集した希少なカーリーメイプルを使用し、世界のプロアーティスト、そして君の手元にスーパースペックギターをおくり続けている。トーカイLSシリーズ――〈ヴィンテイジモデル〉ぐ'58スタンダードモデル〉君もそのファンタスティックなグレイトサウンドを発見してほしい。

●マホガニー1ピススネック

●トチボオ

●2ピースブックマッチングド・カーリーメイプル

●メイプル以外のトラモク模様材？……：単にシマ模様、トラモク模様が出ている材料をさがそうと思えばいくらでもあるし、逆に本メイプルよりギンギンギラギラのトラモク模様がでているものがあり、たとえばこのそのものでいちばんスゴイのがトチ材(写真上)。多くのトラモクが大きいものの一見してこれを本メイプルと見分けられる人は少ない。その他にもシカモア、マネグル等世界にはたくさん色々な材料があるし、音響特性を考えずに製作されれば日本国中、いや世界各国中、トラモクスタンダード、トラモクギターの山となるにちがいない。トーカイが、がスこに本メイプルにこだわり続ける理由は、あくまでオリジナルマテリアルと同じスペックで、オールドスタンダードのグレイトサウンドを再現したいからなんだ。トラモクが出ていても全くメイプル材とちがうやわらかい材料をトップに貼ったところで音をミュートして逆にメイプルトップ&マホガニーバックとのボディコンストラクションから生まれるすばらしいサウンドを殺しているのではないかな？トーカイではヴィンテイジモデルに真のトラモクスタンダードを再現すべくカーリーメイプルを。'58スタンダードモデルにはセレクテッドメイプルをそれぞれ使用して、サウンドを基本とした妥協のない徹底したギターづくりを続けている。トップマホガニー1ピストップ、マホガニー1ピースバックもエンの下の力持ちとなってグレイトサウンドを創りだす大きな要因となっていることはいうまでもない。ここまでパーフェクトにそして忠実にレプリカしたスタンダードモデルはもちろん世界でもトーカイだけだ。

●ヴィンテイジモデル・ボディ

●ヴァイオリンフィニッシュボディ

●トラモク・アーチドビュー

●稀マモク(バーズアイ)ボディ

## パーフェクトなギターを生む厳格な素材基準、
## 世界に先がけたNCルーターの使用。

●自然乾燥：世界各地より収集されたカーリーメイプルおよびその他の貴重なギター材は丸太製材が終るとギターづくりに最適な材料とするため、まず自然乾燥(天然乾燥)という長い旅にでる。木材中の「自由水」を含水率18%以下までおとす極めて重要なプロセスだ。洗練名物の積層(はいづみ)で約2～5年間さらされギターになる日をひたすらまつわけだ。●人工乾燥：長い長い自然乾燥の眠りからさめた材料は強烈な熱と蒸気で約1～2週間、人工乾燥にかけられる。木材中の組織についている「結合水」をとりのぞくためだ。担当スタッフは常に計器との戦いだ。特にトラモクは念入りに行なわれる。もし、天然乾燥した材料でないと人工乾燥の狂いがひどく楽器材として不合格となってしまうからだ。また同一材料のみを人乾する事も基本であると先に常識だ。●シーズニング：さてシーズニングだ。人工乾燥が終った材料や本工加工途中の製品は休みなく空調されているシーズニングルームへ入る。常に気温20℃、湿度35%に保たれたこの部屋をトーカイ・カリフォルニアルームと呼ぶ？。基準平衡含水率7～8%にさらし、楽器として完璧な材料に仕上げられる。●素材チェック&ボディ材の構成：シーズニングされた素材は板厚・木目・カナヅイ・クサレ等、厳しいチェックを受けどんどんふるいはとされてゆく。そして厳選されたもの計けがギター材として認められボディ材・ネック材として残される。ここで初めてブックマッチングド2ピースメイプルトップ、マホガニー1ピースバックというボディ構成etcが行なわれ、いよいよボディ加工へと工程は進む。●驚異のボディ加工：正確無比・圧倒的な精度を誇る「NCルーター」このニューメリカルコントロール・ルーターにより、LSシリーズ、そしてしシリーズが時を越えてなめらかによみがえってゆく。外周のカット、穴ぐり加工はもちろん、立体までをもくまなく加工できるこの「3次元ルーター」の導入によりパフォーマンスの高いヴィンテイジモデルが続々と誕生、まさにハイオリテイモデルの故郷といったところ。もちろんこのNCルーターでギターを製作したのも世界でトーカイがはじめてだ。こうしてできあがったボディに今度は経験ゆたかなクラフトマンの手が加えられ、よりパーフェクトで精度の高いギターとして仕上げられネックのジョイントへまつ。●ネック加工&ジョイント：採行してすすめられているネックはトーカイが日本でそれぞれ採用したマホガニー1ピースネック。ヘッド角18°でヒール継ぎなしのこのネックは機械加工も非常にむずかしく、正確にトラスロッドがセットされた後、接着形状は1本1本繊細なクラフトマンの手により、ノミ、角金ガンナ、小刀、木工ヤスリ、キサゲ等使いこなれた道具を駆使し仕上げられてゆく。そしてローズ指板がラミネイトされボディとパーフェクトジョイント。またまたトーカイの技術の見せどころ塗装工程へと入ってゆく。

●NCルーター(ボディ加工)

●自然乾燥(マホガニーネック材)

●シーズニングルーム

●NCルーター(アーチドトップ加工)

●使いこまれた工具

●高精度の測定器

●フレットファイリング

●ボディ穴あけマシン